
平成21年3月期 第2四半期決算説明会

平成20年11月17日(月)

東京鋼鐵株式会社 JQ:5448

代表取締役社長 南 良隆

目次

- P 3～ 10 決算の概要
- P11～ 14 市況動向
- P15 通期業績見通し
- P16 今後の設備投資計画
- P17～ 22 その他付属資料

決算の概要

- P4 第2四半期 実績概要
- P5 第2四半期実績グラフ
- P6 売上高・輸出割合の推移
- P7 製造原価
- P8 営業利益増加分析
- P9 貸借対照表 主要項目比較
- P10 キャッシュフロー推移

第2四半期 実績概要

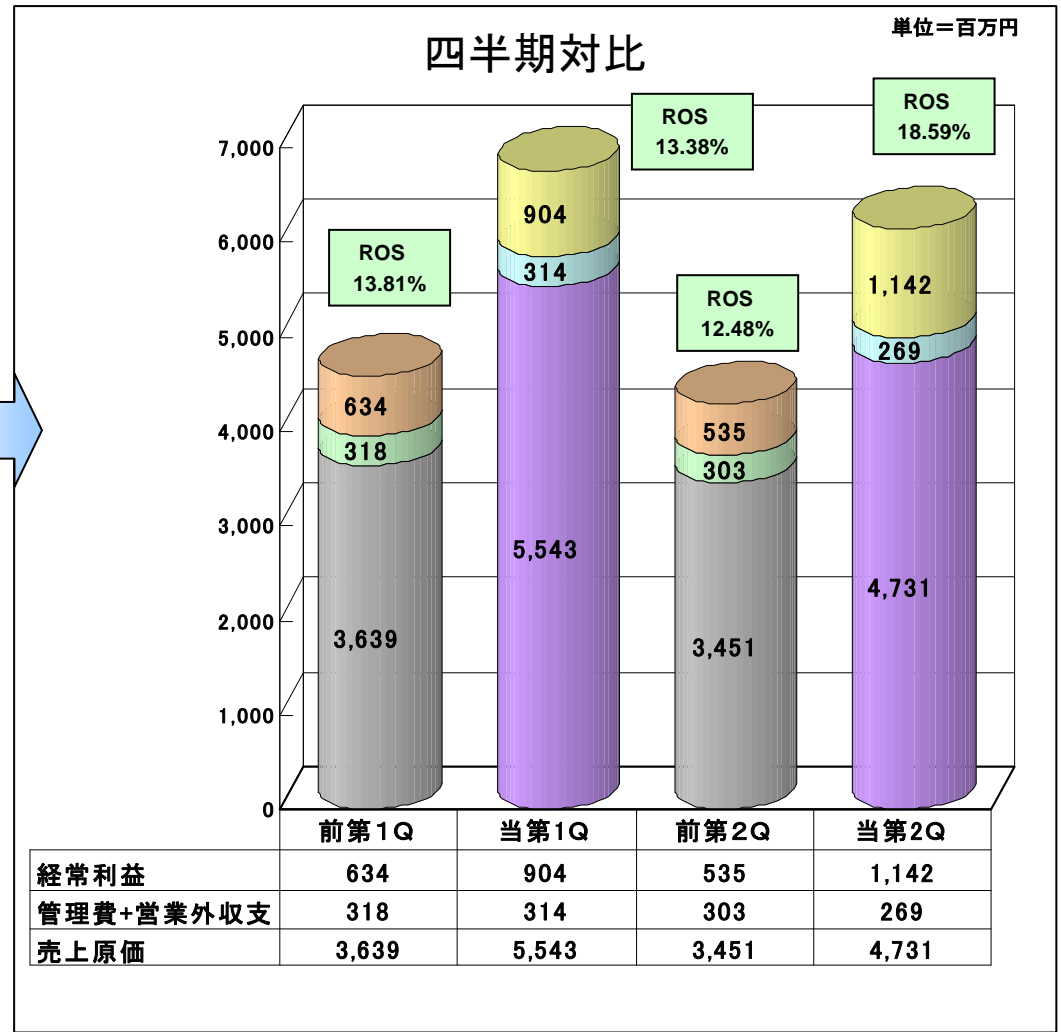
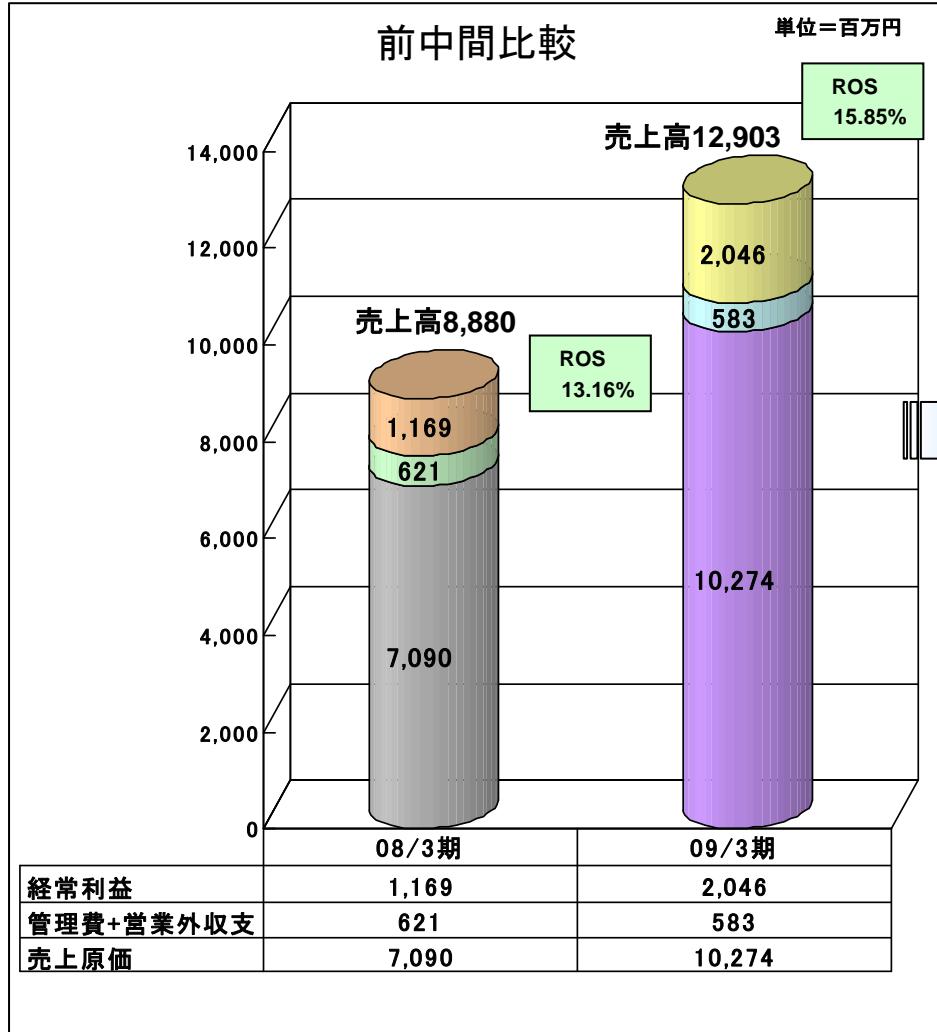


第2四半期累計期間(中間期)としては過去最高の経常利益を達成

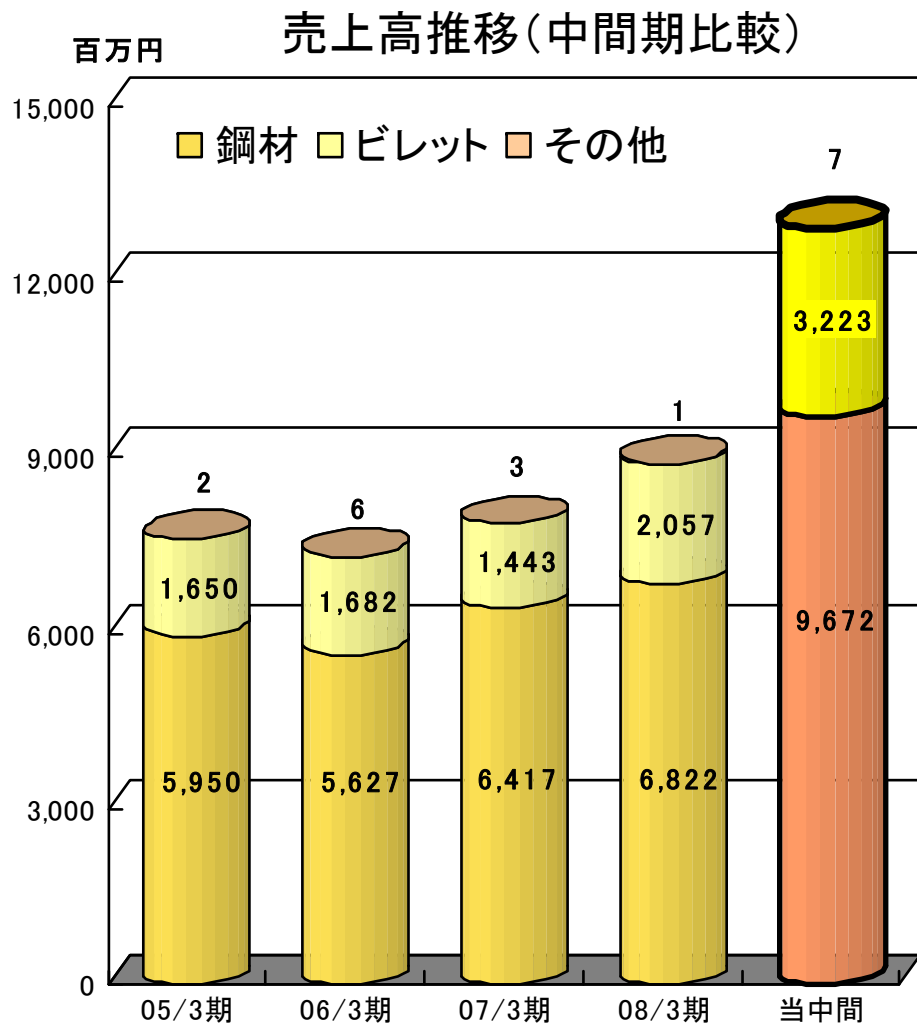
単位:百万円

	20/3期 (前中間)	21/3期 (当第2Q)	差引	前年比 増減率	要因
売上高	8,880	12,903	4,023	+45.3%	原材料価格高騰分を販売価格転嫁
売上原価	7,090	10,274	3,184	+44.9%	急激な原材料・副資材等の高騰
売上総利益	1,790	2,629	839	+46.8%	
管理販売費	621	607	-14	-2.3%	
営業利益	1,169	2,022	853	+73.0%	
経常利益	1,169	2,046	877	+75.0%	中間期過去最高額を達成
中間純利益	699	1,100	401	+57.4%	
売上高総利益率	20.16%	20.37%	+0.21%		
// 経常利益率	13.16%	15.85%	+2.69%		普通鋼電炉16社中第2位(鉄鋼新聞より)
EPS(円)	40.17円	63.17円	+23.00円		
配当(円)	5.00円	5.00円	±0円		

第2四半期実績グラフ



売上高・輸出割合の推移



輸出割合比較(売上高ベース)

品目	前中間	当中間	増減
鋼材 (国内)	72.8%	74.2%	+1.4%
(輸出)	4.0%	0.8%	△3.2%
ビレット (輸出)	23.2%	25.0%	+1.8%

※ビレット(国内)は少額のため記載を省略

前中間期 売上比較

<鋼材>

原材料高騰分を販売価格転嫁し国内販売に注力した結果

販売数量 (国内) 474 t 増加

販売単価 31,874円 上昇

販売数量 (輸出) 4,591 t 減少

販売単価 27,764円 上昇

<ビレット>

販売数量こそ減少したものの価格引き上げが功を奏す

販売数量 (輸出) 1,288 t 減少

販売単価 35,795円 上昇

※適正販売価格を模索し上期利益計画を達成！！

製造原価



(金額:百万円、構成/増減率:%)

	20/3 中間期		21/3 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
材料費	5,418	77.9%	8,997	83.7%	3,579	66.1%
労務費	428	6.2%	456	4.3%	28	6.5%
経費	1,108	15.9%	1,293	12.0%	185	16.7%
総製造費用	6,954	100.0%	10,746	100.0%	3,792	54.5%

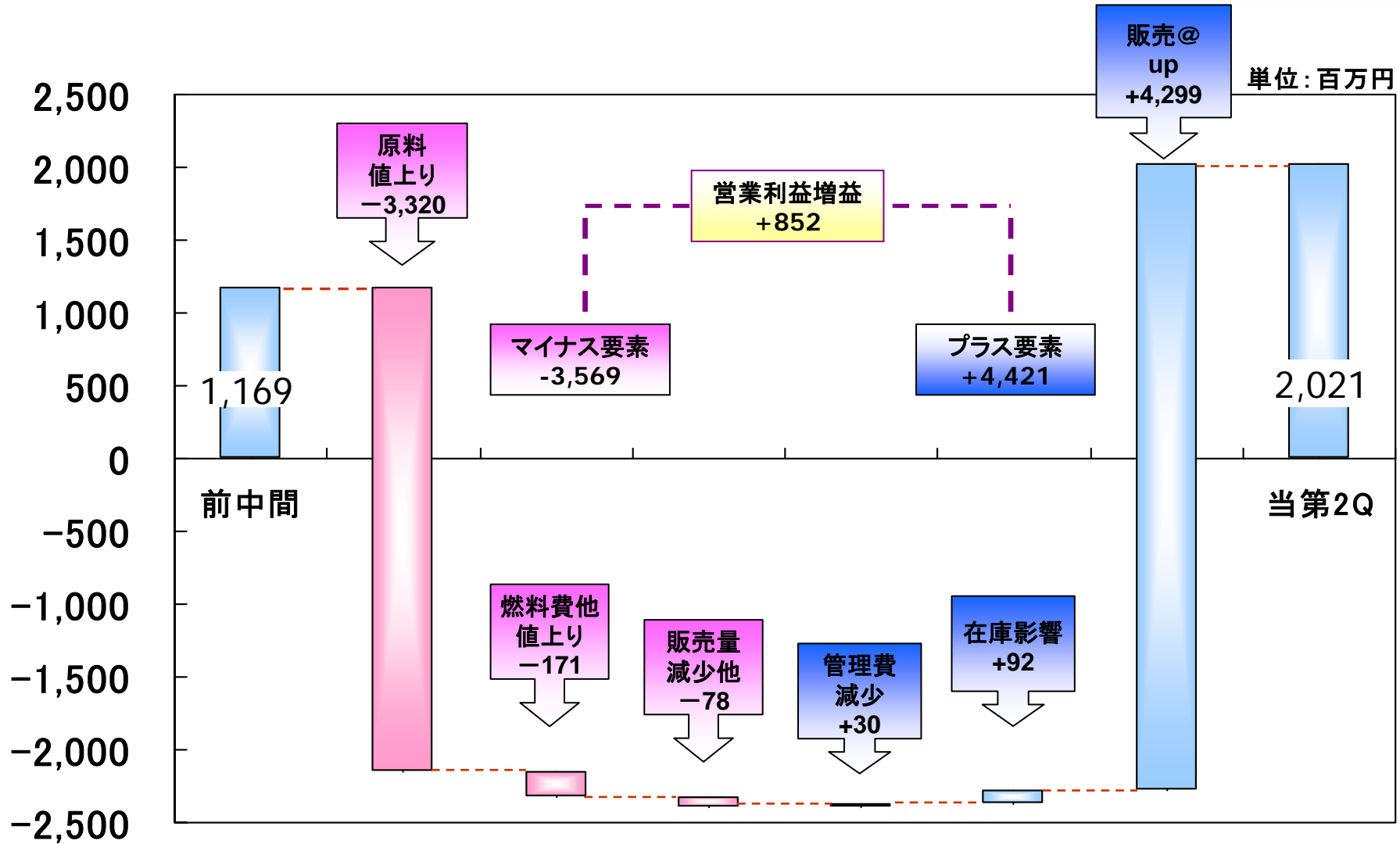
増加要因 《材料費》

- ・スクラップ単価アップにより 3,281百万円
- ・原油値上がりによるA重油値上がり 145百万円

《経費》

- ・原油値上がりによる電気料金値上がり 90百万円

営業利益増加分析



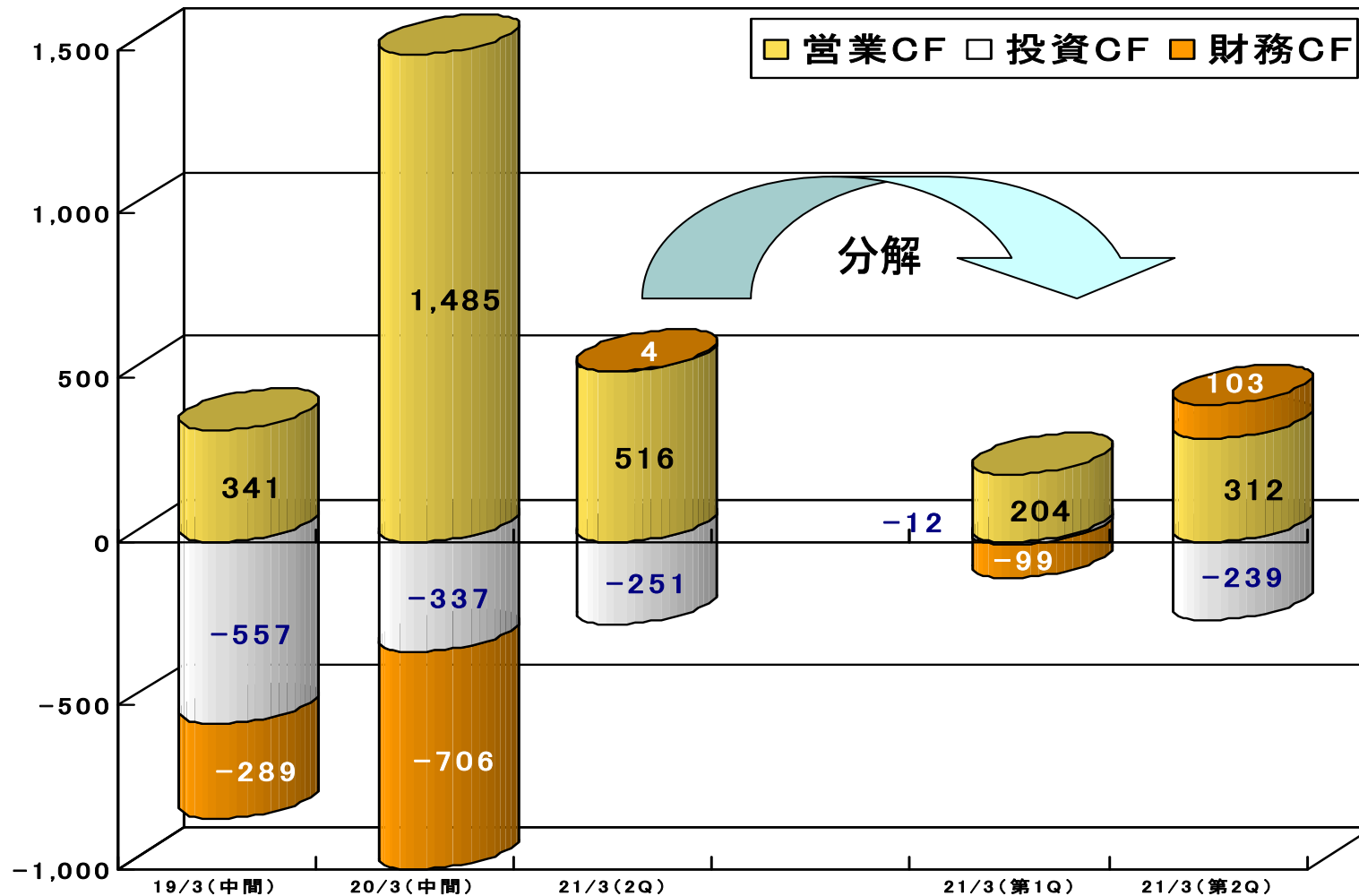
貸借対照表 主要項目比較



単位: 百万円

		08/3	08/9	増減額	内 容
資産	売上債権	4,310	5,822	1,512	効率を考え受手から売掛金へ
	棚卸資産	2,045	2,429	384	原材料の値上がりによる影響で増加
	流動資産	8,634	10,784	2,150	
	有形固定資産	9,758	10,786	1,028	トランス、フリッカ等の設備投資実施
	固定資産	9,997	11,006	1,009	
負債	買入債務	5,631	7,336	1,705	設備代金、原材料の値上がり影響
	有利子負債	587	680	93	設備資金調達
	流動負債	6,658	8,653	1,995	
	純資産合計	10,092	11,087	995	
	負債・純資産計	18,631	21,790	3,159	
	流動比率(%)	129.7%	124.6%	△5.1%	
	自己資本比率(%)	54.2%	50.9%	△3.3%	
	DELシオ(倍)	0.06倍	0.06倍	0.00倍	

キャッシュフロー推移



《営業CF》

- ・前年同期比、営業CF減少の主要因は、販売単価上昇に伴う売上債権の増加15億円
- ・棚卸資産の数量増によるCFの減少を極力抑えた

《投資CF》

- ・上期設備投資実施額16億円

《財務CF》

- ・設備資金の一部を金融機関から調達

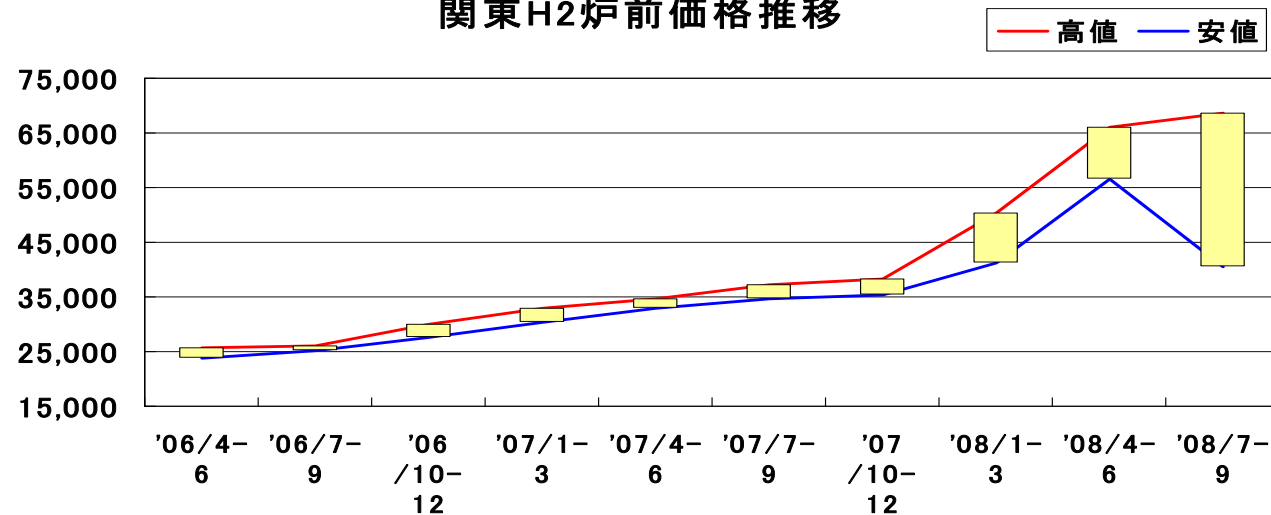
市況動向

- P12 スクラップ市況
- P13 原油・合金鉄市況
- P14 山形鋼市況

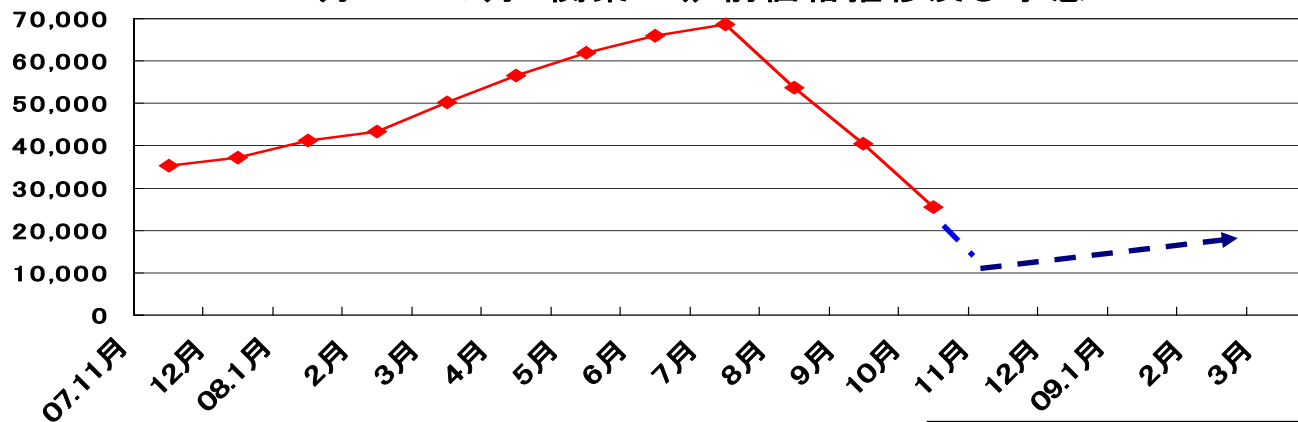
スクラップ市況



関東H2炉前価格推移



07.11月～09.3月 関東H2炉前価格推移及び予想



出所:社)日本鉄源協会

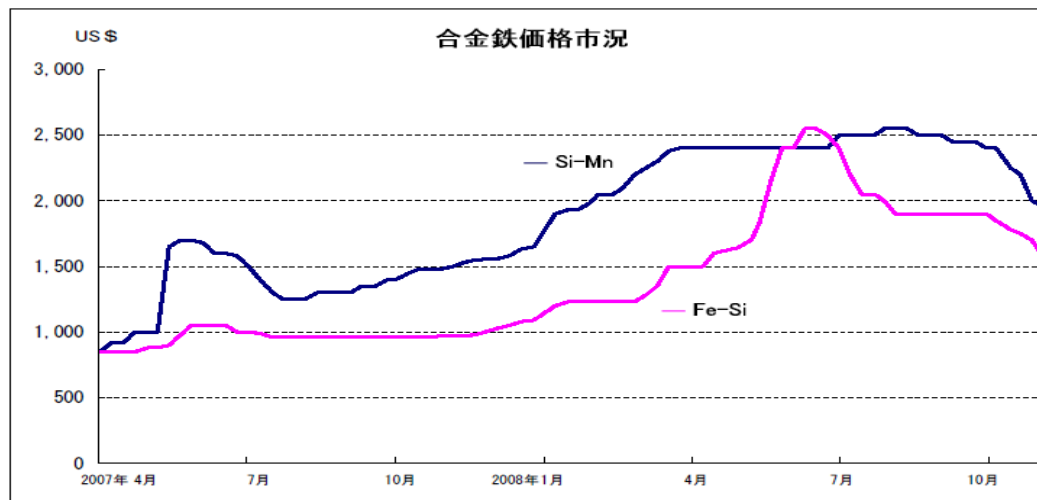
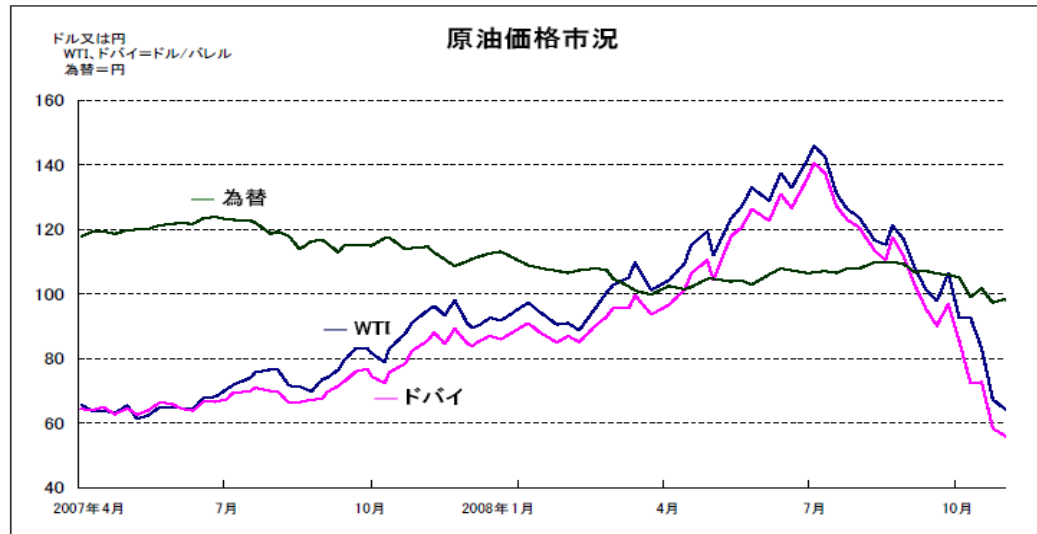
《国内》

- ・鉄鋼製品の需要減少により電炉各社は減産継続
- ・高炉のスクラップ使用量は減少
- ・1万円前後まで市況低下し底値感が出てきた？

《海外》

- ・コンポジット価格は11/3 \$97.50へと大幅下落
- ・韓国や中国などのアジア各国は割安になった日本屑購入に動き出している購買意欲が弱いため、上昇力弱い

原油・合金鉄市況



《原油》

下落要因

- ・投機マネーの減少
- ・景気減退による需要減少

《合金鉄》

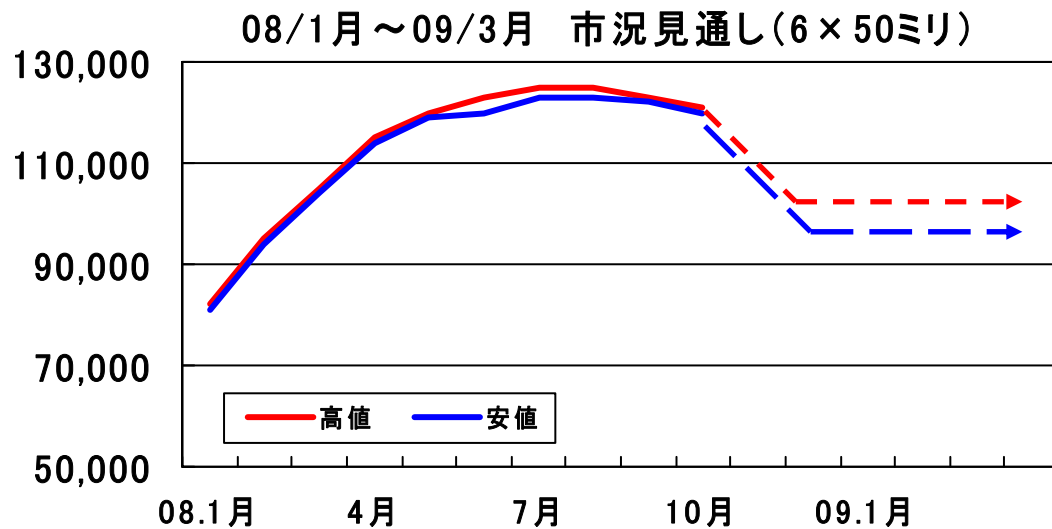
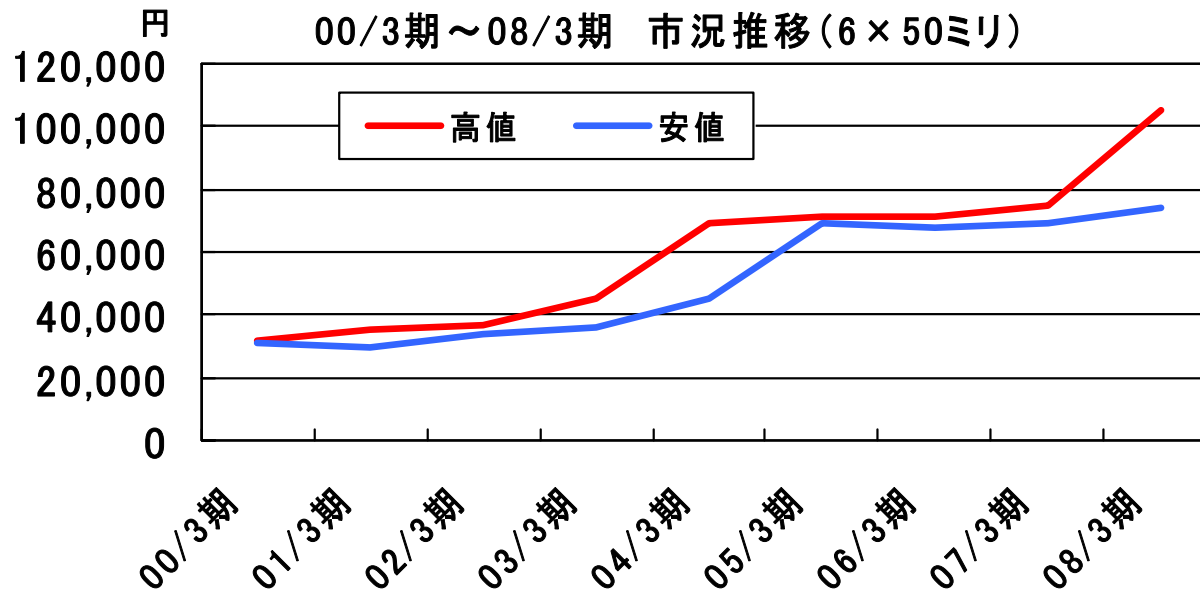
下落要因

- ・中国の生産減による需要減少
- ・国内も同様

＜見通し＞

原油、合金鉄ともに、景気回復の見込みが見えないことから、緩やかな下落傾向が続くのではないかと見られる。

山形鋼市況



《国内》

- ・スクラップ急落により
購入意欲が減退
- ・11月積み2万円値下げ
- ・需要減少により大幅な
減産を実施し需給調整

《海外》

- ・ビレット、アングルとも
海外市況は混乱
- ・韓国メーカーは日本と
同様に減産に動いて
いる
- ・一般形鋼の輸入はない

通期業績見通し

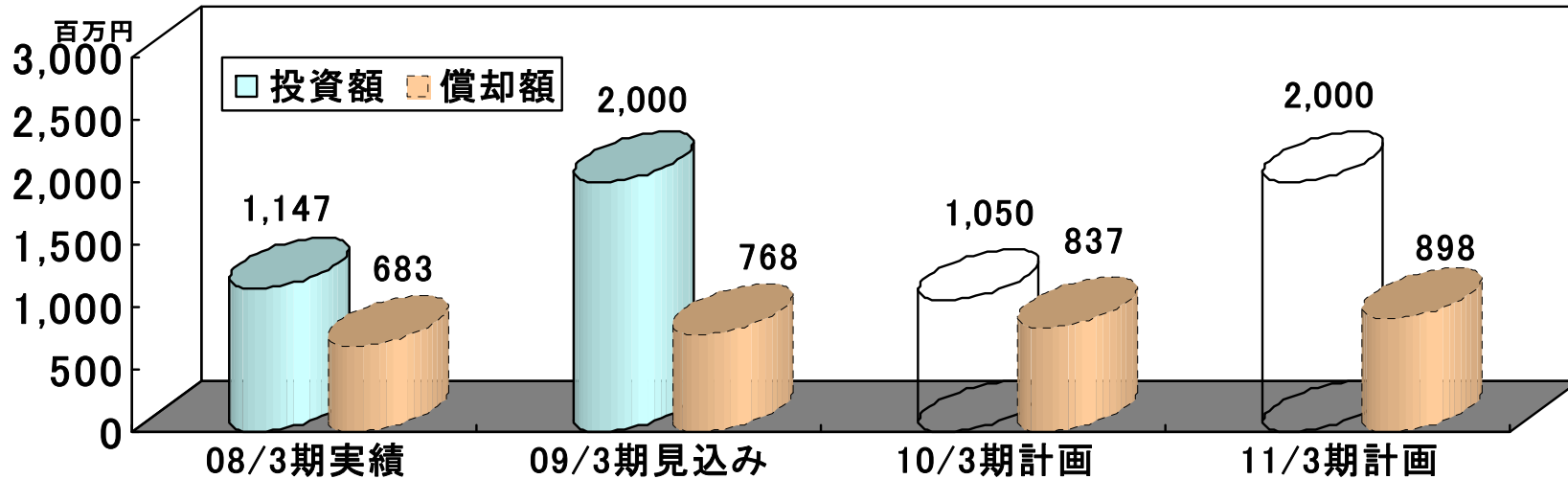


需要に見合った生産と販売に徹し、適正な市場維持構築を図る。

単位:百万円

	08/3期 (実績)	09/3期 (見通し)	差引	前年比 増減率	要因
売上高	18,950	20,000	1,050	+5.5%	世界景気減速懸念による市場の混乱
売上原価	15,365	15,800	435	+2.8%	
売上総利益	3,585	4,200	615	+17.2%	適正スプレッドを確保する
管理販売費	1,225	1,200	-25	-2.0%	
営業利益	2,359	3,000	641	+27.2%	
経常利益	2,383	3,000	617	+25.9%	
当期純利益	1,382	1,660	278	+20.1%	
売上高総利益率	18.91%	21.00%	+2.09%		
〃 経常利益率	12.57%	15.00%	+2.43%		
EPS(円)	79.39円	95.31円	+15.92円		
配当(円)	10.00円	10.00円	±0円		

今後の設備投資計画



設備投資明細

• 09/3期	製鋼・トランス及びフリッカ更新	10.0億円	製鋼・集塵装置(環境)	2.5億円
	圧延・スタンド	0.6億円	その他	6.9億円
• 10/3期	圧延下工程の改修	5.5億円	圧延機他	2.0億円
	製鋼建屋排熱設備	1.0億円	その他	2.0億円
• 11/3期	圧延仕上列更新	8.0億円	圧延・加熱炉ガス化	6.0億円
	製鋼連鑄工程改修	3.0億円	その他	3.0億円

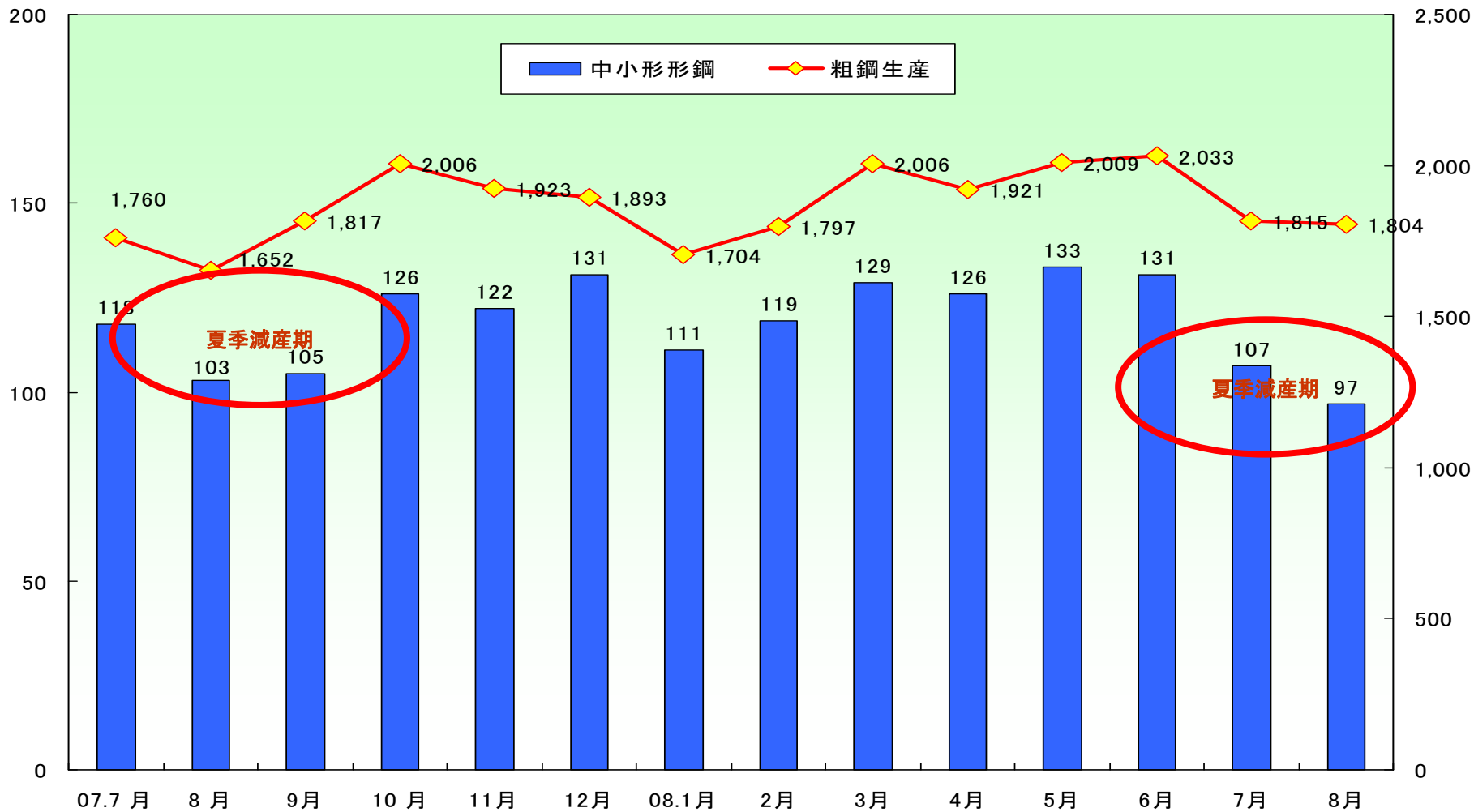
その他 付属資料

- P18 普通鋼電炉の生産推移
- P19 鉄鋼業界中の当社の位置
- P20 形鋼の用途比率
- P21 環境への取り組み
- P22 製造工程図

普通鋼電炉の生産推移(07.7月~08.8月)



単位:千t



出所:経済産業省

鉄鋼業界内の当社の位置



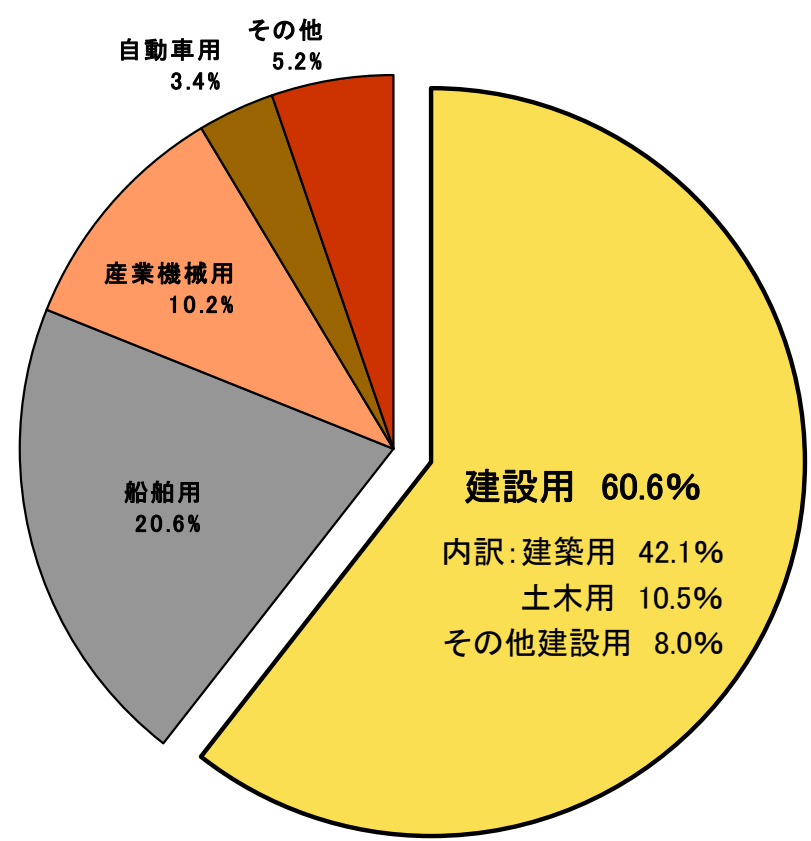
売上規模は小さいが利益率は常に上位

		売上高		経常利益		ROS		
		全体順位	電炉順位	全体順位	電炉順位	利益率	全体順位	電炉順位
東	05／3通期	65位	15位	37位	14位	20.9%	6位	5位
	06／3中間	61位	15位	38位	15位	20.1%	7位	6位
京	06／3通期	65位	16位	39位	15位	21.3%	6位	5位
	07／3中間	65位	18位	38位	14位	20.9%	6位	4位
鋼	07／3通期	67位	16位	42位	14位	19.4%	5位	2位
	08／3中間	67位	20位	47位	14位	13.2%	11位	3位
鐵	08／3通期	67位	18位	50位	15位	12.6%	11位	3位

05／3通期(単独):71社 06／3中間(連結):69社 06／3通期(連結):69社 07／3中間(連結):72社
 07／3通期(連結):72社 08／3中間(連結):72社 08／3通期(連結):73社

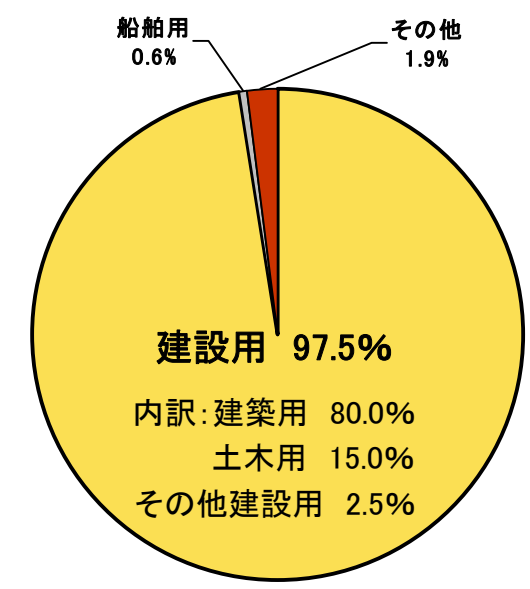
出所:鉄鋼新聞

2007年度 形鋼の用途比率



223万t／年間

一般形鋼の用途比率



473万t／年間

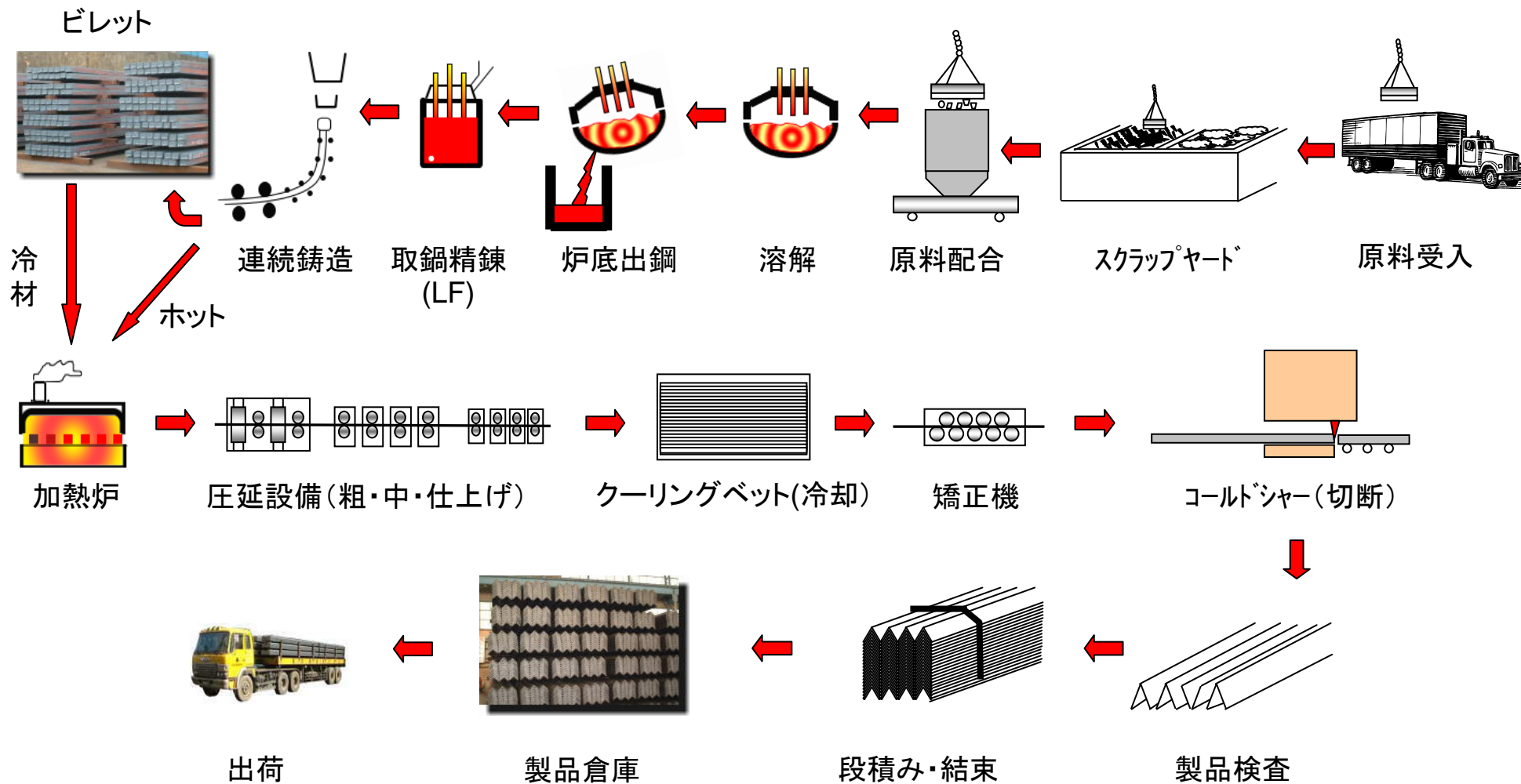
H形鋼の用途比率

環境への取組み



- H18. 11 ISO14001:2004認証取得
- H18. 11 工場敷地内に50本植樹
- H19. 11 工場敷地内に50本植樹
- H20. 6 小山市エコ・リサイクル推進事業所に認定
- H20. 9 集塵装置増設
- H20. 11 おやまエコリサイクルフェスティバルフェアに参加(ごみ集積所の試作品等展示)
- H20. 11 工場敷地内に50本植樹予定
- 毎月工場周囲のクリーン作戦実施

製造工程図



資料取扱上の注意



本資料に掲載しております計画数値や見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて当社独自に予測したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、実際の業績はこれと異なる可能性があり、見通しの達成を保証するものではありません。